

## 上海食品監督管理局訪日団と交流

2017年12月12日(火)

上海食品監督管理局訪日団の一行7名が、日漢協を訪れ交流会が行われた。

日漢協側は、渡邊喜久彦常務理事をはじめ、国際委員会、広報委員会など5名で訪問を歓迎した。渡邊常務理事からの歓迎挨拶を受け、訪日団を代表して、陳堯水副局長は交流会受入への感謝の言葉と「日本の漢方業界の現状を知り、日本の企業が中国側にどのような要望があるかなど、意見交換をしたい」と交流会の目的を述べた。



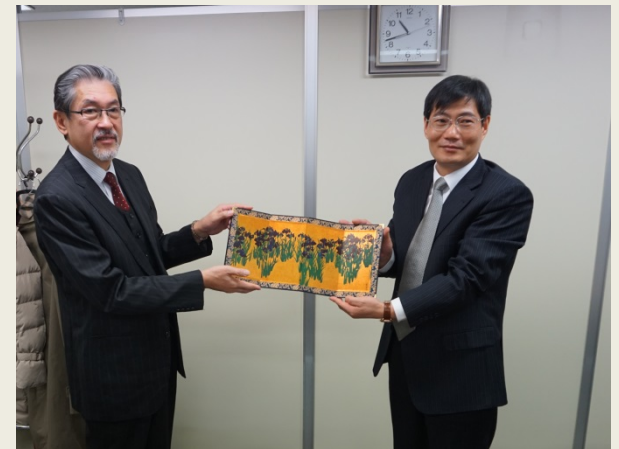
【諸田 委員長】

その後、諸田隆国際委員長が次の項目で日漢協の取り組みを説明した。

- ◆日漢協の設立の背景と現在までの経緯
- ◆漢方製剤、生薬製剤、生薬の安定供給の取り組み
- ◆漢方GMPや残留農薬に関する自主基準の制定
- ◆日漢協からの情報発信、調査、国際活動等

意見交換では、

- ・刻み生薬の性状規格
  - ・刻み生薬を使用した治療の医療機関
  - ・医師の漢方医学的な診断の有無
  - ・伝統薬の国際基準についての考え方 など
- 多岐に亘る質問が続いた。



【陳副局長(右)と渡邊 常務理事 記念品交換】

最後に、記念品の交換が行われ、終始友好的な交流会であった。